

学校訪問シリーズ III



## 大分市立大東中学校から学ぶ

生徒数1270名、関係する職員を入れると1300名を超える本校の教育目標「生きる力を育み、自己実現に向けて、自ら考え、行動し、社会貢献できる生徒の育成」を達成するため、

**自分の考えをもち、学びを深める子ども**

**互いの思いを伝え合い、多様な価値を認め合える子ども**

**困難なことを粘り強く解決し、主体的に将来を切り拓こうとする子ども** と、

資質・能力の3本柱を基盤とした生徒像を重点目標とし、それぞれの部会を中心に目標に対する検証、改善を行っています。さらに、新たな生じた個々の課題に

ついては主体者を明確にし、企画委員会で練り上げ、各種部会をとおして組織的な取り組みをすすめています。

また、校舎内の掲示物からも生徒会活動が熱心に行われていると感じました。

←「しんけん掃除新聞」の整美委員長のメッセージからも、PDCAサイクルによる実践と当事者意識の高さを感じました。さらに、「さんゆう若竹会」や公民館と連携した取組も行い、今後は、目標協働に向けた実践が期待されます。

授業改善においては、生徒が追究したくなるような「課題」の提示、課題解決のための「学び合い」、深い学びへつなげる「振り返り」に加え、ICTの活用も推進しています。参観した授業でも、それぞれ工夫があり多くの生徒は意欲的に参加していました。

今後は、課題をつかめていない生徒をつくらないためにも、拳手した生徒やつぶやく生徒の意見だけでなく、ペアでの確認や、短時間の学び合いを複数回行ってみたいはいかがでしょうか。生徒の活動を増やすことで、学び合い等の様子をより俯瞰的に見ることができ、個別最適な学びや協働的な学びがより推進されると思いました。



NO.581 2022年12月 大分市立大東中学校

### 目標をもつ

黙って掃除をすることが目的ではない。自ら目標を決め、工夫して、協力しながら汚れを落とす。だから、達成感がある。



NO.582 2022年12月 大分市立大東中学校

### 説明できる

自分の考えを黒板に書き説明できるのは、共感的に聞いてくれる友達に囲まれているから。



NO.583 2022年12月 大分市立大東中学校

### 予想を確かめる

実験をすると、予想と異なることや、新たな疑問が生まれる。それが、次の課題となる。



NO.584 2022年12月 大分市立大東中学校

### まとめる力

考えをまとめるには、それぞれの思いを共感的に聴き、理解し、共通点や相違点をまとめ、納得解をさがす。多数決ではない。



NO.585 2022年12月 大分市立大東中学校

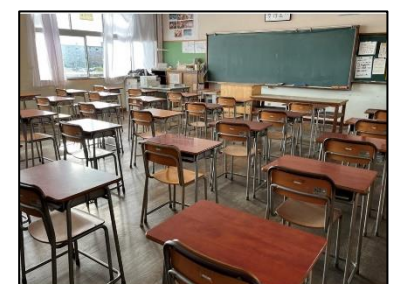
### 体験は 教えられない



NO.586 2022年12月 大分市立大東中学校

### 背中をみると

一人一人が集中している様子がよくわかる。一人一人が集団の空気をつくっている。



NO.587 2022年12月 大分市立大東中学校

### 教室をみると

移動教室や放課後の机や椅子をみると、そのクラスの雰囲気が見えてくる。